

高田 本山 だより

発行所

真宗高田派宗務院

三重県津市一身田町2819

電話 059-232-4171

FAX 059-232-1414

HP www.senjuji.or.jp



発行部数 35,000部



七百五十回遠忌報恩大法会に向けて

多様化する社会の中で

感謝の心をつないでいこう

宗務総長 青木 眞暁

三月十一日午後二時四十六分、東日本に観測史上最大の大震災が発生し、海岸沿いの市町村落の壊滅的な有様と放射能汚染の恐怖をもたらせた。又、最近では世界の各地におきている局地的な洪水や海面の上昇など、温暖化による異常気象がメディアを通して報じられている。自然が今までのバランスを崩し様々な異変をもたらしている。

よく考えてみると、これらは私達人間の物質的欲求を満たすための行為から引き起こしたものではなからうか。古くから人の営みは自然の恩恵を受け、感謝と畏敬の念を持って自然に寄りそって生

かされ、自然の一員としての存在であった筈であり、そこには、かつて何事によらず良き話、うれしい会話には慣用として「おかげさま」という心、気持ち、言葉があった。あえてその意味を問うまでもなく、何気なく交わされる「おかげさま」には互いの支え合いを共有する温もりが共に生かされていくことへの感謝の気持ちがこめられていた。

しかし、昨今ふだんの会話の中でもこの言葉を耳にすることはほとんどなくなつたように思う。飽くことのない物資欲は分別を超えて、貪りの心をおこし、過剰にあふれた物質は多くの資源を浪費し、様々な生態系を壊して自然を狂わせる結果となり、この自然か

らの警鐘、満身創痍となつたこの美しい宇宙の星「地球」の悲しみに気付き、私達のいのちを育んだ大千世界のただひとつの星に深く反省し改めるのはもう今しかないのかも知れない。

優しさ、思いやりを中心とした生活の中に、感謝の気持ちを取り戻し、自然に和して全ての生命が一体であることをよく識り、お互いに助け合い慈しみ合つて生きる中に平和は生まれるのであり、親鸞聖人が願われた「世の中安穩なれ仏法ひろまれ」のお心をたずね、「聖人のみもとに帰ろう」のスローガンのもと私達はこの災害で尊い命をなくされた方々と御遺族に対し、重ねて哀悼の意を表し、被災された皆様に喪心よりお見舞い申し上げますと共に、現代社会が安穩であるように願ひ、親鸞聖人七百五十回遠忌報恩大法会を次の日程でお勤めさせていただきます。

平成二十四年

四月六日(金) ～ 十六日(月)

ぜひとも皆様どうぞ三重 高田本山 専修寺にご参詣ください。

納骨堂法会 納骨堂仏間でのお勤め



御遠忌記念『親鸞聖人・専修寺大展覽会』

十月二十五日から東京国立博物館の平成館にて開かれていた、「法然と親鸞ゆかりの名宝展」は盛況のうち十二月四日に閉幕しました。専修寺からは国宝『西方指南抄』をはじめ十八件の宝物が出陳されました。今月の二十日に戻ってまいります。今春三月十七日から五月二十九日まで京都市美術館において開催されていた「親鸞展」を含めると、聖人ゆかりの品々は、搬出日から数えて、前代未聞の延べ二十四週間という長期旅行をされたこととなります。御帰還まで僅かな日数を待つのみですが、さぞかし大変な一年であったと思われまします。しばらくの御休息が必要かと存じますので、例年、本山宝物館にて開催しております報恩講記念展には、真仏・顕智両上人の残されました聖教のうち、平成二十一年度と平成二十二年度に修復された宝物を見ていただくと思っております。

しばらくの御休息というのは、本山報恩講法会の後、三月四日から四月十六日まで、今度は、四日市市菰野町のパラミタミュージアムにて、親鸞聖人七百五十回御遠忌報恩大法会記念「高田本山の宝物と文化財展」が始まるためです。この展覧会場は、公益財団法人である岡田文化財団が運営する美術館で、ミュージアム開館十周年記念特別企画としても開催されますが、これは、昨年完

成した専修寺御影堂修復への岡田文化財団からの御助力への返礼として、京都・東京の展覧会には出品されなかつた、専修寺所蔵の逸品中の逸品を展覧していただくための企画展でもあります。展示規模は各地で開催された御遠忌記念の宝物展中、もつとも多数の貴重宝物を鑑賞していただくための準備が進行中です。



その一端を紹介しやすくと、聖人ゆかりの宝物では「親鸞聖人自筆御消息」(重文)全部と、「親鸞聖人伝絵」(重文)の全巻が展覧に供されます。古写経典関連では、存覚筆「観無量寿経集註」(重文)と色彩の見事な平安時代末期の「装飾阿弥陀経」(重文)。また、仏画では県

下最大の「釈迦涅槃図」が初めて本山から外に出されて、ミュージアムの壁面に懸かっています。そのほか、高麗仏画の優品として知られる「釈迦三尊像」が久しぶりに出陳されます。その他、伝来のお茶道具も多数出品されますので見所の一つとなります。また、今回の企画には、室町時代中期から近代に至る、専修寺と天皇家・公家との親密な関係を示す貴重品が出品されます。写真の牛に乗る笛を吹く童子像もその一つで、「風声」と銘々された木彫は今年の宝物館調査にて発見されたものです。作風から明治彫刻界の巨匠であった高村光雲の作と認められる優品であり、近衛家のお生まれにて有栖川宮家の御養子として、専修寺第二十一世となられた堯熙上人との深い関係を示す品で、大正時代に有栖川宮家より、明治天皇の皇后であられた昭憲皇太后の御遺品として御下賜されたものです。他にも孝明天皇御遺品の蒔絵机や、明治天皇と昭憲皇后の御愛用品にて、男女ペア用として制作された蒔絵椅子などの調度品も出品されます。

また、四月六日からの本山御遠忌法会では、一身田本山の宝物館にて、パラミタミュージアムの展示と平行して「本山秘蔵 親鸞聖人御眞蹟展観」を開催し、大正十五年四月に聖人立教開宗七百年記念展として開催された、近代最初の親鸞聖人展を再現しようと考えていますので御期待下さい。

(宝物館主幹 新光晴)

パラミタミュージアム開館10周年記念特別企画

真宗高田派本山専修寺開山聖人750回遠忌報恩大法会記念 『高田本山の宝物と文化財展 - 信仰とその証 -』

2012年

- 第1期 3月 4日(日)~3月19日(月)
- 第2期 3月20日(火・祝)~4月 2日(月)
- 第3期 4月 3日(火)~4月16日(月)

●講演会 3回シリーズ 赤川一博(当館学芸企画部長)

- 14:00~15:30
- 3月11日(日) 「親鸞聖人の時代と美術」
- 3月25日(日) 「真慧上人の時代と美術」
- 4月 1日(日) 「高田派寺院の宝物一伊勢国を中心に」

●ギャラリーツアー 第2・4土曜日 13:00~13:45

- 開館時間 9:30~17:30 (入館は17:00まで)
- 2011年12月28日~2012年1月1日は休館
- 展示替えのため、一部休場の場合あり
- 入館料 一般1,000円(4枚セット3,000円)
- 大学生800円・高校生500円・中学生以下無料

- [主催] 公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム
- [後援] 三重テレビ放送株式会社、中日新聞社、NHK津放送局、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、シーティーワイ、ケーブルネット鈴鹿
- [協力] 三重テレビエンタープライズ株式会社
- [特別協力] 宗教法人 真宗高田派本山専修寺

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム
http://www.paramitamuseum.com

〒510-1245 三重県三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

親鸞聖人のご生涯シリーズ 19

御遷化・御葬送

慈信坊善鸞義絶という悲しい出来事の後も、親鸞聖人は精力的に著作活動に専念されました。「恩徳讃」を含む

『正像末法和讃』を完成されたのも最晩年のことであり、聖人八十五歳のお手紙には、「目もみえず候う。なにごと



茶毘 (火葬) の場面

もみなわすれて候う」と記されていますが、身体が確実に衰えていく中でも著述による伝道への熱意は一向に衰えることはありませんでした。

しかし弘長二年(1262)十一月下旬のころから、病気が味になられました。それから世間的なことは全く口にされず、ただ阿弥陀さまのご恩の深きことを話され、絶え間なくお念仏を申しておられました。同月二十八日正午ごろ、お釈迦さまのご入滅にならわれて、頭を北に、顔は西に、右脇腹を下にして臥したまま、ついに念仏の声が途絶え、ご往生されました。享年九十歳でした。

葬儀は願智上人(高田派第三世)他、少数の門弟によって営まれたが、その際聖人のご歯骨を携行して本寺(野州専修寺)に帰り廟所に埋葬されました。

聖人は「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし(歎異抄)」という法然上人の教えを、インド・中国・日本を貫く先輩方(七高僧)に確認していかれました。その中で人間としての生き方を仏法に教えられ、念仏の教えを喜ばれた無数の先達の存在を確認され、同時にこれから念仏の教え

に出遇うであろう後輩たちの姿も讃仰されました。

また聖人は『教行証文類』の最後に「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え、連続無窮にして、願わくは休止せざらしめん」と欲す。無辺の生死海を尽くさんごためゆえなり」と『安楽集』の言葉を引用されました。

この言葉は聖人滅後七百五十年の今を生きる私たちに對し、今も届き続ける聖人からの励ましとただかねばなりません。

本願念仏の教えの開頭と草の根の布教に生涯を尽くし、後の同朋に真実の道を指南する貴重な著作を残された聖人のいのちはこので終わることなく、残された言葉となって今日まで生き続け、無数の念仏者を生み出し続けています。

最後に、聖人の御作『正像末法和讃』から「恩徳讃」をここに引き、如来大悲の恩徳を報ずるとともに、聖人の恩徳に心より感謝の念を捧げたいと思います。

合掌

「恩徳讃」

如来大悲の恩徳は身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も骨を砕きても謝すべし

武田龍精編 往生論註出典の研究

論大綱/総説偈文/觀察門/廻向門/解義総説/起觀生信/觀察体相/淨入/願心/善巧撰化/離苦提障/願菩提門/名義撰対/願事成就/利行満足/總結釈の論集 参考文献略記一覽外 定価9000円税込

林智康著

親鸞聖人と建学の精神

知恩報徳と常行大悲/前に生れんものは後を導き、後に生れんひとは前を訪へ/世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ外 定価1300円税込

北畠晃融著 仏道を学ぶ

定価1680円税込

普賢保之著

本當の幸せとは

— 自己を見つめて — 定価1000円税込

無名会同人編

仏と人 47

定価410円税込

松岡秀隆著

蓮如上人の門弟の人々

定価2500円税込

山崎龍明著

歎異抄とともに

定価1050円税込

永田文昌堂

600-8342 京都市下京区花屋町西洞院西入
FAX 0755-33711・966511
電話 010-23511-9033
振替 010-23511-9033

これからの
本山諸法会

◆修正会(しゅじょうえ)

一月一日(三日)

阿弥陀如来と共に新年を迎えられたことを喜び、如来の恩徳に謝し、如来の本願を届けて下さった祖師の方々を讃仰する年の始めの法会です。

修正会では一年に二度だけ「緋御書(ひもとぎのごしよ)」が拝読されます。第十八世圓尊上人(えんじゆんしょうにん)がお書きになりました緋御書は、年のはじめにあたって忘れてはならない仏法の要をわかりやすく説かれており、克明(こくめい)に求道(くどう)の(こうろ)を論じてくださっています。

晨朝 午前七時より
(元旦のみ)

午前六時三十分より

御参廟 元旦のみ晨朝後

日中 午前十一時三十分より



報恩講のご案内

平成二十四年本山報恩講を厳修いたします。

皆様お誘い合わせの上、どうぞ賑やかにご参詣下さい。

一月九日(月)

◆新成人の集い

本年で成人のお祝いをしませんか。平成二十四年に新成人になられた方はどなたでもご参加いただけます。どうぞ友達とお誘い合わせて本山へお越し下さい。本山食堂にてお非時(お食事)をご用意しております。

十二月より宗務院階にて受付。

一月十日(火)

◆お七夜坊守会

十二月より御影堂にて式典。
講演 四日市市誓元寺住職 栗原廣海師

一月十一日(水)

◆責任役員会

十月より御影堂前にて受付。
お日中、お説教聴聞に引き続きして大会がございます。

一月十二日(木)

高田学苑報恩講参拝



◆御正忌報恩講

一月九日(十六日)

お念仏のみ教えを広めて下さった宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、恩を喜び、報謝させていたたく法会でございます。聖人のご命日でありまして一月十六日の御正忌に合わせて七昼夜お勤めされることより、「お七夜さん」と呼ばれています。

晨朝 午前七時より

日中 午前十時三十分より

速夜 午後二時より

(九日のみ午後十二時)

(三十分より)

初夜 午後四時三十分より

大講堂説教 午後十二時

(三十分より)

ごほんせんえどころ
御本山絵所
にょふう

絵所頭 安川如風

世の中安穩なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鋳金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所
〒514-0114 三重県津市一身田町2819
TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414
(本山宗務院内 絵所)

◆お七夜婦人連合会
十二月より御影堂にて式典。
講演 津市浄福寺住職 鈴木紀生師

一月十三日(金)
◆特別講演
午前九時より如来堂におきまして講演がございます。どうぞご聴講下さい。

四日市市誓元寺住職 栗原廣海師
高田短期大学報恩講参詣

高田本山御用達
井筒法衣店
社長 幾田潤
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
(〒600-8503)
TELフリーダイヤル 0120-075-720
FAXフリーダイヤル 0120-075-490

ご法事のご会食 ご予約承り中
～少人数から団体のお客様まで是非ご利用ください～

お薦め商品(精進+和食ミックス)
本山会席
各種献立よりお選びいただけます。
◇精進料理 1人前 4,000円(税別) ◇本山会席 1人前 3,500円(税別)

人気商品 高田本山流 精進料理
お問い合わせ・ご注文は 高田本山 TEL.059-232-6079



一月十四日(土)

◆特別講演

午前九時より如来堂におきまして講演がございます。どうぞご聴講下さい。

津市青巖寺住職

清水谷正尊師

他山御焼香

午前十時より御影堂にて、京都の西本願寺様の御焼香がなされます。

高田保育園報恩講参拝

◆お七夜高田派青年大会

午前十一時より宗務院にて受付。

一月十五日(日)

◆法主褒賞式

午前十二時三十分より御影堂にて。

◆お七夜子ども大会

高田高校仏青インターアクト部のお兄さん、お姉さんたちの楽しいアトラクションがございます。お気軽にご参加下さい。

十二時より宗務院二階で受付。

十三時より式典、アトラクション。

式典後、献書展表彰式。

お七夜婦人連合会初夜参詣

◆後夜(ごや)

午後十一時からおつとめがございます。

この日は後夜のおつとめが終わるまで門が開いています。ご参詣下さい。

一月十六日(月)

◆御参廟

午前九時より

その他の行事

◆献書展

一月九日～十六日 宗務院

◆生花展

一月十日～十五日

山内休憩所

◆呈茶(宗旦古流)

呈茶券をお求めの上お越し下さい。

一月九日～十五日

十時から十五時 有慶堂

◆安楽庵見学

ご見学をご希望の方は進納所にお集まり下さい。

一月九日 十四時

一月十一日～十五日

十二月十四時

一月十六日 十二時

◆宝物館特別拝観

ご自由に拝観していただけます。

一月十日～十五日 十時～十五時

一月十六日 十時～十三時

(十日から十五日まで、十三時から宝物の解説がございます。)

◆お尋ねコーナー

仏事の相談事をうけたまわります。

一月十日～十五日 十時～十五時

宗務院ロビー



御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内)
電話 (075)371-0854・8181~2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

緑と共に75年

三重県知事免許認可
(一級造園技能士)造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栄真小川町 869-77

TEL 232-7453
FAX 232-7453



ホーオーが目印!

六代目 (株)めし与仏壇店

桑名本店・四日市店・蟹江店・桑名メモリアルパーク

京仏壇京仏具・ご本堂内装
お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈! お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595

開山聖人750回遠忌報恩大法会

御遠忌の期間中、「聖人のみもとに帰ろう」のスローガンに沿い特別行事としてシンポジウムを2回行ないます。会場は新しく完成となります高田会館新ホールを予定しております。どちらのシンポジウムも関係者だけではなくどなたでもお聴きいただくことができます。皆様のご来場をお待ち申し上げます。



シンポジウム 第1回

平成24年4月13日(金) 午後3時から 専修寺内 高田会館ホール

テーマ：「**仏教福祉を考えるシンポジウム**」

基調講演：**西來 武治 先生** (医事評論家)

講演テーマ：「**現代の生老病死－臨床仏教学の実践－**」

- シンポジスト：
- | | |
|----------|------------------|
| 田代 俊孝 先生 | 同朋大学大学院教授 |
| 長上 深雪 先生 | 龍谷大学社会学部教授 |
| 向井 啓二 先生 | 種智院大学人文学部教授 |
| 安藤 和彦 先生 | 京都文教短期大学幼児教育学科教授 |
| 高林 光暁 先生 | 高田光寿園園長 |

コーディネーター：**千草 篤麿 先生** 高田短期大学人間介護福祉学科教授



千草 篤麿 先生

西來先生には基調講演の枠にとられず、広く仏教福祉について約40分お話をいただきます。シンポジウムでは、それぞれ20～25分ずつ専門分野からのお話をいただきます。安藤先生には仏教保育について、長上先生には調査に基づく仏教福祉の存在理由について、高林先生には高田派の仏教福祉の流れについて、田代先生には真宗のビハラー活動について、そして向井先生にはベトナムの仏教福祉についてお願いしたいと考えています。



高田本山御用達
三重県仏教会御推薦

石碑
記念碑
燈籠



高級御影石専門店
御影石材株

(石に御用の方は) イレニヨキョ
0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)
☎059-224-1700(代)

お墓 高田本山御用達
全国優良石材店、認定店

寺標 創業110余年

墓地移転 株式会社 **ISHISEN STONES 石仙**
(旧(有)山本石材店)

霊園開発造成 ミナ ヨイイシ
0120-67-4114
四日市市近鉄阿倉川駅前 ☎059-331-4114

シンポジウム 第2回

平成24年4月14日(土) 午後3時から 専修寺内 高田会館ホール

テーマ：「親鸞聖人の御生涯を再考する」

シンポジスト：小山 正文 先生 同朋大学仏教文化研究所顧問
 草野 顕之 先生 大谷大学学長
 佐々木 正 先生 真宗大谷派萬福寺住職
 松尾 剛次 先生 山形大学教授
 山田 雅教 先生 浄土真宗本願寺派西勝寺住職

コーディネーター：栗原 廣海 先生 高田短期大学学長



栗原 廣海 先生

基調講演は設けず、5人の先生方に25分ずつお話しいただきます。まず最初に、山田雅教先生に、親鸞聖人の御生涯における諸問題について、学界の動向と問題点をお話しいただき、続いて、小山・草野・佐々木・松尾各先生（五十音順）に、最近の御著書等に御執筆になっている新知見を中心にお話しいただきます。

その後、コーディネーター（栗原）の進行に従ってシンポジストの先生で議論を展開していただくとともに、聴衆からの質問も受け付け、議論を深めていただこうと考えています。

《シンポジウムのお問い合わせは、開山聖人750回遠忌報恩大法会事務局 まで》

TEL 059-236-4025 FAX 059-236-4026

E mail:honzan-bekkyoku@senjuji.or.jp



蓮を育てませんか



3月頃に本山の蓮をご希望の方に鉢か株(レンコン)でお分けいたします。6~7月頃に咲きます。3月中下旬に本山まで取りに来ていただける方に限らせていただきます。

- 受付：2月29日(水)まで
- 銘柄：下記写真の5種類
※育成状況により変更になる場合があります。
- 金額：鉢付き・1万円(50×40) 株のみ・3千円(肥料付き)
詳しくは宗務院 柏原まで
- TEL：059-232-4171
- メール：shomubu@senjuji.or.jp



大賀蓮



輪王蓮



浄台蓮



酔姫蓮



アメリカ白蓮

ラジオ法話

●毎週土曜 朝六時五十分〜七時 放送中

「高田本山の時間」

CBCラジオ
(1053Hz)

寺院名

真宗高田派 本寺 **専修寺**

開山聖人 **七百五十回**

遠忌報恩大法会

- 本山法主殿 法嗣殿 御親修 御親教
- 帰敬式 稚児練り 尊徳太鼓 民話の会
- 東日本大震災物故者一周忌追悼法会

平成 **24年3月9・10・11日**

本寺 高田山 **専修寺** | 〒321-4511 栃木県真岡市高田 1482
TEL:0285-75-0103 FAX:0285-75-0163

本寺専修寺「開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会」案内

- | | | |
|--|--|---|
| ○3月9日(金)
法嗣殿御親修・御親教 | ○3月11日(日)
御参廟 法主殿御親修・御親教
帰敬式
東日本大震災物故者一周忌追悼法会 | ○その他の行事
民話の会(地元に伝わる親鸞聖人のお話)
尊徳太鼓(二宮尊徳を顕彰する太鼓)
写経の会(随時) |
| ○3月10日(土)
稚児練り
法主殿御親修・御親教
帰敬式 | | |